

IT人材不足対策やプログラミングの専門スキルが要らないと言われる「ノーコード・ローコード」ツール。果たして救世主なのでしょうか？

最近、以前にも増して「ノーコード・ローコード」という言葉を聞くようになりましたね？基本から活用、注意すべき点を整理しておきましょう。



今こそ
知りたいDX /
vol.17
(Ver2.0)

確かに便利なツールであることは間違いないですが、導入や運用は、それほど簡単なものではありません。注意点やコツも整理します。

＼ 復習！ノーコード・ローコードツールとは？ ／

ちょっと、
その前に！

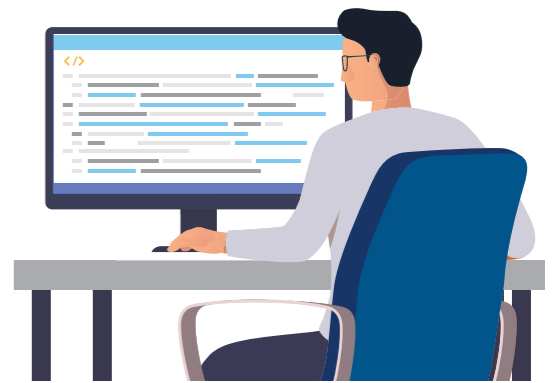
What?

コードとは？
コード(プログラム用語)とは、コンピュータに指示を与えるための一連の命令や指示のことです。プログラムを書くことを「コーディング」とも言います。コードは特定のプログラミング言語で書かれ、コンピュータが理解して実行できる形式に変換されます。



プログラミング言語とは？
良く使われるプログラミング言語は？用途は？
では、有名なプログラミング言語を4つとその特長、主な用途を紹介します。

プログラミング言語とは？
コンピュータに指示を与えるための特定のルールや文法を持った言語のことです。プログラミング言語を使ってコードを書き、コンピュータに様々な動作をさせることができます。プログラミング言語は、人間が理解しやすい形式で書かれ、コンピュータがそれを実行できるように変換されます。



1 Python

シンプルで読みやすい文法を持ち、初心者にも扱いやすい。

主な用途 データ分析、AI、Web開発、スクリプト作成など。

2 JavaScript

ウェブブラウザ上で動作し、インタラクティブなウェブページを作成するために広く使われる。

主な用途 フロントエンドWeb開発、Webアプリケーション、ゲーム開発など。

3 Java

プラットフォームに依存せず、どこでも動作する。

主な用途 エンタープライズアプリケーション、モバイルアプリ(特にAndroidアプリ)、Webサーバー開発など。

4 C++

高速で効率的なプログラムを作成でき、ハードウェアに近いレベルでの制御が可能。

主な用途 ゲーム開発、システムプログラミング、組み込みシステム、リアルタイムシステムなど。

What?

ノーコードとは？

ノーコード(No-Code)とは？
プログラミングの知識がなくてもアプリケーションやウェブサイトを作成できるツールやプラットフォーム(基盤)のことです。ノーコードツールは、ドラッグ&ドロップのインターフェースを提供し、ユーザーが視覚的に要素を配置して機能を追加することができます。



例えば 料理のレシピを見ながら料理を作るようなものです。レシピに従って材料を揃え、手順通りに進めれば、美味しい料理が完成します。特別な料理の技術がなくても、誰でも簡単に作れます。

What?

ローコードとは？

ローコード(Low-Code)とは？
少しのプログラミング知識があれば、より複雑なアプリケーションやシステムを効率的に作成できるツールやプラットフォーム(基盤)のことです。ローコードツールは、視覚的なインターフェースと一部のコード編集機能を組み合わせて提供します。これにより、開発者は基本的な部分を視覚的に作成し、必要に応じてコードを追加してカスタマイズすることができます。



例えば 例えば、料理の基本を知っている人が、自分の好みに合わせてレシピをアレンジするようなものです。基本のレシピを使いながら、自分で調味料を調整したり、新しい材料を追加したりして、オリジナルの料理を作り上げます。

◎有名なノーコード・ローコードツールってどんなものがある？特徴は？

誰もが知っている?! 「kintone」

キントーンはプログラミングの知識がなくてもノーコードで、業務のシステム化や効率化を実現するアプリが作れるクラウドサービス。

<https://kintone.cybozu.co.jp/>



人気急上昇! 「notion」

Notionとは、メモやタスク管理、ドキュメント管理、データベースなど、仕事で使うさまざまなツールを1つにまとめた「オールインワンワークスペース」と言われるアプリケーション。

<https://www.notion.so/ja/product>



テンプレートが豊富! 「Platio(プラティオ)」

Platio(プラティオ)は誰でも簡単に自社の業務に合ったモバイルアプリをノーコードで作成・活用できるクラウドサービスです。工場や倉庫、店舗などの現場に残る紙などの非効率なアナログ業務をデジタル化し、ペーパーレス化を実現。

<https://plat.io/ja>



簡単Webサイト作成! 「ペライチ」

誰でも簡単に売上アップを目指すホームページを作成!スマホ対応の本格ホームページがあつという間に。知識がなくても簡単な操作で作成が可能。

<https://peraichi.com/>



Excel業務改善ならお任せ! 「CELF」

Excelと同じ見た目・操作性で専門的な知識や技術を持たない方で!RPA機能を含めた業務アプリをカンタンにつくることができる、ノーコードのシステム開発アプリです。

<https://www.celf.biz/>



Microsoftのローコードツール! 「Power Apps」

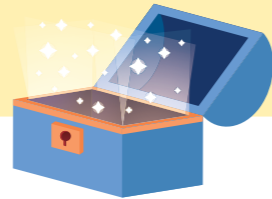
Power Appsは、Microsoftが提供するアプリケーション作成プラットフォームです。Power Appsを使えば、ビジネスに必要なアプリケーションをコーディングの知識がなくても簡単に作成できます。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/power-platform/products/power-apps>



◎ツールの価値最大化のためのコツ:導入から運用

魔法のハコではない!!



1 目的を明確にする

- どんな業務の、どの課題を改善したいのかがハッキリ言語化できる。
- 「現状」と「ありたい姿」を明確にし、ギャップを掴む。
- ユーザーである社員の生産性と働き方の変化が可能か想像する。
- 使う社員のリテラシーやITの環境を把握する。
- お客様にとって「有益か?」自社のことだけを考えない。

2 情報やデータを整理する

- ツールに入れる情報(データ)は正しいか?信頼できるか?
- ツールに情報(データ)を入れたらしっかり稼働するか?
- 情報(データ)が、望むべき「形」になるか?
- 情報(データ)が1つに統合される未来が描けるか?
- 属人化・レガシー化・サイロ化(データが独立してしまう)しないか?

×ノーコード・ローコードツールのデメリット・注意点

1 カスタマイズが難しい

ノーコードやローコードツールは、あらかじめ用意された機能を使うので、細かい部分を自分で変更するのが難しいことがあります。

2 大きなプロジェクトには向かない

スピード重視の小さなプロジェクトには便利ですが、大きなプロジェクトや複雑なシステムには対応しきれないことがあります。

3 セキュリティリスク

データが集積されるので、漏洩や改ざん、破壊等々、セキュリティリスクが集中します。そのため徹底した対策が必要です。

4 ツールに依存するリスク

特定のツールに頼りすぎると、そのツールが使えなくなったときに困ることがあります。ツールにロックインされてしまう。

5 動作が遅くなることもある

ノーコードやローコードツールは、動作が遅くなる場合があります。特に、大量のデータを扱うときやリアルタイムで処理が必要ときに注意が必要です。インターネット回線やネットワーク環境整備を。

6 使い方を覚えるのに時間がかかる

初めて使うときは、ツールの使い方を覚えるのに時間がかかる場合があります。「習うより、慣れろ」です。

7 コストアップ

ノーコードやローコードツールは、SaaS型が多く、従量課金などでデータが多くなると高コストになることも。ベンダーの値上げも。



活用事例

1 顧客管理システム(CRM)



顧客管理システムは、顧客情報を一元管理し、営業活動やマーケティング活動を効率化するためのツールです。ノーコードやローコードツールを使えば、顧客情報の入力フォームやデータベースを作成でき、顧客とのやり取りを記録・追跡することができます。顧客情報を一元管理することで、情報の重複や漏れを防ぎます。マスターデータの正確性・信頼性や重複や入力ルールなどが非常に重要です。

2 タスク管理アプリ



タスク管理アプリは、プロジェクトの進捗状況を管理し、チームメンバー間のコミュニケーションを円滑にするためのツールです。ノーコードやローコードツールを使えば、タスクの追加・編集・削除や、進捗状況の可視化が行えます。ドラッグ&ドロップでタスクを移動できるなど、直感的に操作できるデザインを心がけましょう。ユーザーのアカウント情報や最初に用意するマスターデータが重要になります。

3 予約管理システム



予約管理システムは、顧客の予約を効率的に管理し、サービス提供のスムーズな運営をサポートするためのツールです。ノーコードやローコードツールを使えば、予約フォームの作成や予約状況の確認が行えます。予約状況がリアルタイムで更新されるようにし、ダブルブッキングを防ぎます。顧客が簡単に予約を完了できるように、シンプルな予約プロセスを設計しましょう。やはりこのシステムも最初にどんなマスターデータを準備、いかに正しいかが重要です。



ノーコード・ローコードツールは、ITやプログラミングの専門知識が無くても「サクサク」アプリが作れる非常に便利なツールであり、お客様のDXを推進する強い味方になります。ただ、「目的」「タイパ」「コスパ」、そして社員と顧客にとって、何が有益なのかをハッキリさせてから検討していきましょう。

お客様の成長のため、
私たちがDX推進パートナーとなり、
寄り添い続けます!

